

本郷中学校 令和二年度

第一回入試 国語解説

SNS への転載や出力したものを  
オークションで転売することは  
おやめください。

令和二年十月三日

作成 本郷学園生徒会中央委員会

解答

大問一

① ようさん

② 暴

③ 縦

④ 燃料

⑤ 密談

大問二

問一 A…エ

B…ア

C…オ

問二 エ

問三 エ

問四 ア

問五 ウ

問六 イ

問七 ウ

問八 X…自分の身の回りのものに感謝の気持ちを持ち、大切に用いること

が重要だ。

Y…物質面ばかりを優先させてきた現代人に、精神的な豊かさを思い返して欲しい。

大問三

問一 a…エ

b…ア

c…ウ

問二 イ

問三 俺が俺をい

問四 ア

問五 人生をやり直し、野球に深く向き合わなかったことを、将来吉岡は後悔するに違いない。

問六 ウ

問七 ア

問八 ウ、カ

## 問一 接続詞問題

接続詞問題を効率よく解くコツ

・空欄の前と後ろ(特に直前と直後)の内容に注目すべし。直前直後ではない場合は前の段落と後ろの段落に注目。前後の内容が対立している場合は「けれど」、「しかし」、「でも」のような逆接の接続詞が入ることが多い。また、前文の内容を後文で要約したり、順接、前後が因果関係となる場合は「そのため」、「なので」、「だから」のような接続詞、前文の結論を後文で説明するときは、「なぜなら」を使うことが多い。

・選択肢問題であるときは、選択肢を見ずに問題文に自分で考えた接続詞を入れてみる。その後選択肢から自分の考えた接続詞と同じものや同じ用法の接続詞を選べば、迷うことは少なく短時間で解くことができる。ただ、時間が余ったときは、すべての選択肢を入れてみてほしい。

接続詞問題が苦手な人へ

・空欄ごとにすべての選択肢を入れる。明らかにおかしいと思った選択肢を省き、すべての空欄に候補を出し手からもう一度問題を見て重複がないようにまた候補を絞る。すべての記号問題に共通することだが、一番やってはいけないことは空欄で答案用紙を提出すること。また、すべての選択肢から適当に選んでも正解する確率は低いため、候補を絞るということを忘れてはいけない。

A…前後の文章に注目。「九州や本州」、「太平洋と日本海」、どちらも共に具体例を挙げているため、エ(あるいは)がふさわしい。

B…Bの直前では尾道が豊かな港町であるというプラス面を説明しているが、直後でマイナス面についての説明があり、空欄の前後で対照的な内容になっているためアの(でも)がふさわしい。

C…Cを含む文は二つとも直前文と因果関係になっている。そのためCに入るのはオの(だから)がふさわしい。

## 問二 言葉の性質

今回の問題では、性質の違うものを選ぶため、それぞれの用法を考えてみて共通点を探す。最初から一つだけのものを選ぶより、条件に当てはまらないものを探すと問題が解きやすくなる。

アは「分からない」、イは「ならない」、ウは「しない」というように、アイウには他の言葉について打ち消しの意味を表すという共通点があるため、エだけが性質の違うものとなる。ちなみに、エは「ない」という意味だけで使われる。

## 問三

この問題では尾道について問われている。この説明文を読んでわかると思うが、尾道のことだけにだけを書いているわけではない。そのため、主に尾道について書かれている部分(文章の前半部分)に注目すると効率よく解き進めることが出来る。

①問題が何について聞いているのかをしっかりと把握する  
②選択肢が長い場合は複数部分に分けて考える(ほとんどの場合は読や句読点で分ける)。

③問われている部分に該当する箇所を文章から探し、その部分を重点的に読み込む。

④選択肢を複数部分に区切った場合は、それぞれを文章と比べる。ここに主観が入ってしまうと紛らわしい問題での正答率が一気に下がってしまう。

この四つが出来れば選択肢問題を素早く正確に解くことが出来る。

ア：二ページ十三、十四行目に根拠あり。

イ：三ページ十行目に根拠あり。

ウ：三ページ五、六行目に根拠あり。

エ：一瞬正解のように見える。三ページ九、十行目に根拠があるように見えるが、それが海路の発達につながったわけではないので×。

#### 問四

文章中の傍線部から問題が出題されるとき、傍線部の段落が一番重要になってくる。傍線部の段落だけではあまり意味が分からない時は、前後の段落を通して読むと考えやすくなる。

ア：アの内容は傍線の後ろにかなりしっかり描いてある。

イ：宣彦という名前についてはほとんど書かれていず、選択肢後半の内容は全くないため、×。

ウ：選択肢前半は三ページ十一行目に書かれているが、選択肢後文については何も書かれていないため×。

エ：選択肢前文については三ページ十五、十六行目に根拠があり、選択肢後半については四ページ十二、十三行目に書かれている。ただ、四ページ十九行目に注目すると、十二、十三行目についての内容が過去のものであり、それがずっと続くわけではないことが分かるため×。

#### 問五

この問題はサービス問題。受験直前にはとけるレベルにないと厳しい。この問題が簡単な理由は、問題とほぼ同じ文言が文中にあるからだ。五ページ五行目から読み進めていくと、かなりしっかりと説明が書いてある。国語に限らず社会などの文章から読み取る問題には「問題と同じ文言を文中から探してマークを付ける」習慣をつけておくとミスが減る。よって、この問題の答えはウになる。

#### 問六

問われていることが分かっているならばアとウは選ばないはず。傍線部と深くかかわってくる(抑止力)の話題は五ページの最終行から始まっている。イとエで迷うと思うが、エに決定的に間違っている点がある。

エと五ページ最終行から始まる段落を見比べるとすぐにわかるだろう。よって答えはイ。

問七

傍線部や(羽を休める)ことについて書いてある範囲はほかの問題と比べると長い。ため、探すのは少し大変だったかもしれない。しかし、この問題では問われていることが(羽を休める理由)でありその箇所が分かったら間違えることはないだろう。この問題のポイントとなる部分は、傍線部から最後まで長い範囲だ。

文明は飛ぶ力、文化は羽を休める力ということが書いてあり、その上文化については六ページ十九行目から詳しく書いてあり、その文章を読めば、答えはウだとわかる。

問八

これまでの選択肢問題をしっかりとポイントを押さえて解き、本文を理

解して解いていた人には配点の大きなサービス問題になったはずだ。  
Xでは(みてた)の話をしているため、本文の最初の方に手がかりがあるとわかる。(みてた)という言い方について母から教わったこと問われているため、まず本文中の母の言葉の中から根拠とならぬものを探す。四ページ五行目からの会話文では母がぼくに語り掛けている。ただ、この会話文からは(みてた)の由来についての具体的なことしか書かれていない。この問題では、具体例を問われているわけではないため、字数制限を守って、物への感謝などのことを書けば点数はもらえるだろう。

Yでは古き良き時代と丁寧な筆者が古い時代をよいと思っていることを伝えてくれている。よって、現代と昔を対比して、昔のプラス面を捉えればいいことが分かる。Yの前の「そのような」はXにかかっているため、昔のことではなく、現代の問題点を書けば点数は貰えるだろう。

模範解答

X 自分の身の回りのものに感謝の気持ちを持ち、大切に用いることが重要だ。

Y 物質面ばかりを優先させてきた現代人に、精神的な豊かさを思い返して欲しい。

### 大問三

#### 問一

この問題は必ずとれるように日々、本や新聞記事などを読んで語彙力を増やすことが大切。無理やり覚えるのも一つの手ではあるが、文章などで出てくると、記憶にも残るし、言葉の意味が分からなくても、どんな本だったかなどを思い出せば大体的意味などが分かることもある。

a：決まり悪いには、困惑した、恥ずかしいなどの意味があり、類語としては「ばつが悪い」などがある。よって正解はエ。

b：泡を食うには、ひどく慌てるという意味がある。そのためアが正しい。

c：憤然としては、読んで字の如く憤るという意味があるためウが正解。

#### 問二

この問題は絞りにくい問題だと思う。

アは甲子園の出場よりも「勝ったり負けたりすることの大切さ」を教えることについてがメインのため×。

ウは一人前の監督になりたいなどといった内容は本文中にはなく、また本文中での「ばかっている」の内容が選択肢とは異なるため×。

エは野球部の指導をすることは自己中心的ではないため×。

そのため、消去法でイとなるが、イの根拠の部分はかなり飛んで十五ページ四行目にある。吉岡はショーダイを馬鹿にしているため、その部分の内容と最も合うイが答えだ。

#### 問三

抜き出し問題では傍線部の内容をしっかりと理解し、それにあつた段落から読み、問題に取り組んでいくことがおすすぬ。今回は、吉岡が野球に對しての価値観を語っている場所を中心に探すとよい。そうすると、十三ページ三行目から四行目にかけての吉岡の言葉が答えとなる。最後に三十字以内という条件を守って回答すると、「俺が俺をい」が答えとなる。

#### 問四

十二ページ十一行目にもあるように、将大は教え子に伝えたいことを吉岡にも伝えようとしている。啓一に向けた言葉に吉岡が笑ってそのままに聞き流すのではなく反応してしまったのは、自分のことを言われているように思ったからだろう。アとウで悩むが、改めて将大が吉岡に伝えたい内容を考えるとアが最も適切であることが分かる。

#### 問五

「後悔」については十三ページ十行目に書いてある。「後悔しなかったこと」とは「後悔」をしないために現役を引退して第二の人生をスタートすることである。洋子は吉岡に将来「後悔しなかったこと」を後悔してほしくないというようにをまとめて書けば点数がもらえる。

#### 模範解答

人生をやり直し、野球に深く向き合わなかったことを、将来吉岡は後悔するに違いない。

#### 問六

アは吉岡が野球をやる理由が出世のためではなく自分を好きになることが出来るからだと書いてあるため違うとわかる。

イに洋子の考え抜いた末に発した言葉とあるが、十七ページ二十行目に「言葉が降ってきた」とあるので×。

エの野球というスポーツが神聖であるというとは書いていないため違う。十七ページ七行目、八行目を見るとウが正しいことが分かる。

#### 問七

吉岡はショウダイを見下しているため、関係を重視しているということはないのではないのでエは×。下線部直後に初めて素直な笑い方になったと書いてあるためイではないとわかる。最後にショウダイを突き飛ばした吉岡が周囲に気おさされているはずがないためウも違う。最後にカイロを肩に乗せたことは、肩を温めることを意味し、吉岡が少し前向きに野球にかかわろうとしていることを表しているため、アが正解となる。



## 問八

ショーダイや草野球を吉岡は見下しているため、カが正しいことはすぐにわかる。ほかの選択肢については消去法で考えた方が分かりやすいかもしれない。まず、イとエとオは全く違うことが分かる。問題はアとウのどちらを選ぶかということだ。アの内容が理解できない人もいると思う。この二択になったときにウが正しいことが明確なのでウとカを選択すればいい。

消去法をつかった理由は選択肢を減らして考えやすくするためであり、最初からウが正しいことが分かっている問題は問題はない。